

案件

ひらかた高齢者保健福祉計画 21（第9期）等の策定について

長寿・介護保険課
健康づくり・介護予防課

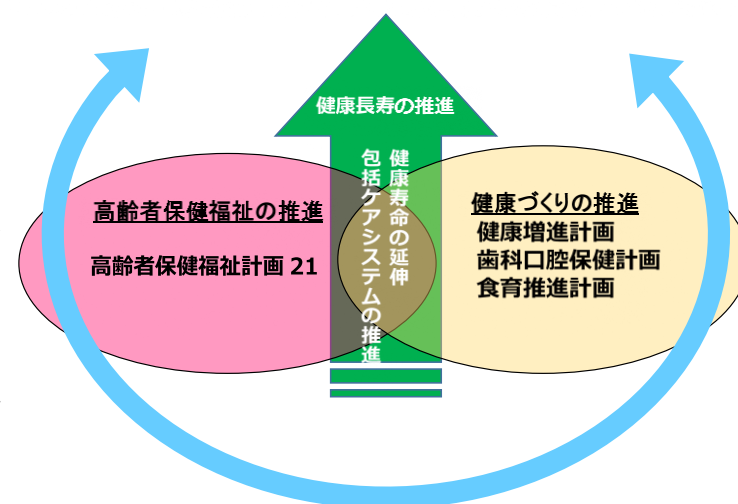
1. 政策等の背景・目的及び効果

高齢者福祉や健康増進施策を計画的に推進するため策定している「ひらかた高齢者保健福祉計画 21（第9期）」、「第3次枚方市健康増進計画」、「第2次枚方市歯科口腔保健計画」、「第4次枚方市食育推進計画」が、令和5年度（2023年度）に計画期間の終期を迎えることから、次期計画の策定を行うものです。

これらの計画は「健康長寿」という共通の目的を有しており、各計画の取り組みを連動、連携させることで、より効果的に推進できるよう、策定作業を進めます。

なお、各計画期間については、ひらかた高齢者保健福祉計画 21（第9期）」は、令和6年度（2024年度）～令和8年度（2026年度）とし、「第3次枚方市健康増進計画」、「第2次枚方市歯科口腔保健計画」、及び「第4次枚方市食育推進計画」につきましては、令和6年度（2024年度）～令和11年度（2029年度）（国及び大阪府の方針により、変更の可能性あり）とする予定としています。

高齢者保健福祉・健康づくりの効果的推進



2. 内容

(1) ひらかた高齢者保健福祉計画 21（第9期）

<趣旨・目的>

高齢者が生きがいをもち、自分らしく暮らすことのできるまちづくり

<これまでの主な課題>

- ① 公募選定による介護保険施設等への応募整備事業候補者が少ない
- ② コロナ禍で地域支援事業の取り組みの一部が実施できない状況があった
- ③ 認知症支援の推進にあたり関係機関等との連携を更に進める必要がある

上記の状況を踏まえるとともに、高齢人口が急増することを見据え、被保険者数や認定者数の推計、第8期計画期間中の取り組み実績等を踏まえた計画の策定が必要

<今後の方向性> (現時点での検討案であり、今後、追加・修正することがあります。以下の計画も同様)

- ① 「8050問題」など複雑化・複合化した課題への重層的支援体制の充実
- ② 「2025年・2040年問題」への対応を見据えた地域包括ケアシステムの推進
- ③ 認知症の総合的・包括的な支援策の推進
- ④ PFS事業の実績を活用したより有効性の高い地域支援事業手法の採用
- ⑤ オンラインでの介護予防教室など、デジタル技術を活用した取り組みの充実

(2) 第3次枚方市健康増進計画

<趣旨・目的>

すべての市民が健康で安心していきいきと暮らすことができるまちの実現をめざす

<これまでの主な課題>

- ① 青年期や壮年期における肥満者の割合が増加
- ② メタボリックシンドローム該当者の割合の増加
- ③ 高齢期における「やせ」が他の年代より多い

<今後の方向性>

- ① 健康寿命の延伸に向け、新たに補完的指標※を設定し、進捗を踏まえた取り組みの推進
- ② 働く世代における健康づくりの推進に向け、健康経営の取り組みを促進
- ③ こころの健康対策などを含め、健康への関心・行動を起こすための取り組みを推進
- ④ PHR（パーソナルヘルスレコード）※など、デジタル情報や技術を活用した取り組みを推進
- ⑤ ひらポの健康ウォーキングアプリ活用など、運動やスポーツを通じた健康づくりを推進

※「PHR（パーソナルヘルスレコード）」：個人の健康・医療・介護に関する情報。自己の情報をマイナポータルで管理・活用することで健康状態に応じたサービス提供を受けることをめざし、国が取り組みを進めている。

※健康寿命に関する指標について

＜健康寿命の算出方法＞

国：国民生活基礎調査により算出（「日常生活に制限のない期間の平均」）

市：介護度データより算出（「日常生活動作が自立している期間の平均」（要介護2以上を不健康））

・本市の健康寿命の推移（大阪府より提供）

		2016年度 (H28年度)	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (H31年度)
男性	目標値	—	78.9	79.1	79.2
	実績	78.8	80.0	80.3	80.4
女性	目標値	—	82.2	82.4	82.5
	実績	82.1	83.5	83.4	84.1

国の目標

2040年の健康寿命を2016年から
男女ともに3年以上延伸する

＜健康寿命に影響を与える因子に関する指標 (補完的指標)＞

「健康寿命の延伸」に係る施策の効果・進捗を図るための指標として新たに設定

① 生活習慣病受診患者割合の減少

(枚方市国民健康保険被保険者40歳以上)

	(%)	
	R2年度 現状値	R5年度 目標値
有病率	41.4	39.4

② 75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少

(10万人あたりの数値)

	R2年度 現状値	R5年度 目標値
	73.0	72.3

③ 特定健康診査受診率の向上

	(%)	
	R2年度 現状値	R5年度 目標値
受診率	30.1	50

④ がん検診受診率の向上

アンケートによる集計 (%)

	H30年度 中間評価	R5年度 目標値
乳	33.8	50
子宮頸	29.3	50
大腸	38.6	40
肺	37.2	40
胃	37.6	40

市が実施するがん検診 (%)

	R3年度 現状値	R5年度 目標値
乳	9.2	27.1
子宮頸	13.3	34.3
大腸	8.9	11.3
肺	9.7	13.3
胃	2.6	6.6

⑤ 精密検査受診率の向上

	(%)	
	R2年度 現状値	R5年度 目標値
乳	98.4	90以上
子宮頸	83.6	90以上
大腸	73.1	90以上
肺	93.0	90以上
胃	91.1	90以上

※各目標値は、「健康増進計画」等から設定

(3) 第2次枚方市歯科口腔保健計画

<趣旨・目的>

歯と口腔の健康づくりを通じて生涯自分の歯で食べて味わい、元気でいきいきとした人生を送る

<これまでの主な課題>

- ① 成人期に歯肉に炎症所見を有する人が増加
- ② 学齢期や成人期において、かかりつけ歯科医を有する者の割合が低い
- ③ 高齢期における歯間部清掃用具を使用する者の割合の減少

<今後の方向性>

- ① 健康増進計画や食育推進計画などと連携した一体的な取り組みとして効果的に推進
- ② 歯科健診などを受診する際に配慮を要する人への支援の推進
- ③ 働く世代における歯と口の健康づくりの推進に向け、健康経営の取り組みを促進
- ④ 定期的な歯科健診の受診を定着させるための取り組みを充実
- ⑤ 日常生活で市民が取り組むセルフケアの普及啓発の推進

(4) 第4次枚方市食育推進計画

<趣旨・目的>

子どもから高齢者まで、一人ひとりが「食」に関する正しい知識と「食」を選択する判断力を身につけ、生涯にわたり健康寿命の延伸につながる健全な食生活を実践するとともに、市民活動としての食育の推進

<これまでの主な課題>

- ① 1日のうちに2食以上、主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている人が減少
- ② 食の安全性に関する正しい知識をもち、実践している人の減少
- ③ コロナ禍で子育て世代や働く世代に「中食」※の頻度が増えるなど「食」への影響が大きい

<今後の方向性>

- ① 給食を通じた食育の推進等、特に若い世代への将来の食習慣の形成につながる取り組みの推進
- ② 「食」や「食の安心・安全」についてSNSや動画等を効果的に活用した情報発信の充実
- ③ 健康寿命の延伸につながる食育の推進
- ④ バランスの良い食事を選ぶことができる食環境づくりの促進
- ⑤ 健康メニューを取り入れた飲食店や食品の紹介など、公民連携の取り組みを推進


※「中食」：総菜や弁当を購入又は配達等によって家庭内で食べる食事形態

3. 実施時期等（予定）

	ひらかた高齢者保健福祉計画 21 (第9期)	第3次枚方市健康増進計画 第2次枚方市歯科口腔保健計画	第4次枚方市食育推進計画
令和4年(2022年) 9月	在宅介護実態調査実施		
10月	介護予防・日常生活圏域ニーズ 調査実施	枚方市健康増進計画審議会へ諮問 (以降、審議会を5回程度開催) 学校等へのアンケート実施	枚方市食育推進計画審議会へ諮問 (以降、審議会を5回程度開催) 学校等へのアンケート実施
11月	枚方市社会福祉審議会へ諮問 (以降、審議会を5回程度開催)		
12月	高齢者実態アンケート調査実施	市民向けアンケート実施	市民向けアンケート実施
令和5年(2023年) 11月	市民福祉委員協議会へ計画素案 の報告	市民福祉委員協議会へ計画素案 の報告	市民福祉委員協議会へ計画素案 の報告
12月	計画素案について市民意見聴取	計画素案について市民意見聴取	計画素案について市民意見聴取
令和6年(2024年) 1月	枚方市社会福祉審議会より答申	枚方市健康増進計画審議会より 答申	枚方市食育推進計画審議会より 答申
2月	市民福祉委員協議会へ計画 (案)及び介護保険料改定方針 の報告	市民福祉委員協議会へ計画 (案)の報告	市民福祉委員協議会へ計画 (案)の報告
3月	ひらかた高齢者保健福祉計画 21 (第9期)の策定 令和6年3月定例会に介護 保険条例改正議案提出	第3次枚方市健康増進計画の策 定 第2次枚方市歯科口腔保健計画 の策定	第4次枚方市食育推進計画の策 定

4. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画

	ひらかた高齢者保健福祉計画 21 (第9期)	第3次枚方市健康増進計画 第2次枚方市歯科口腔保健計画	第4次枚方市食育推進計画
基本目標	2. 健やかに、生きがいを持って暮らせるまち		
施策目標	9. 高齢者が地域でいきいきと 暮らせるまち	6. 誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち	
SDGs			

5. 関係法令・条例等

	ひらかた高齢者保健福祉 計画 21（第 9 期）	第 3 次枚方市健康増進計画	第 2 次枚方市歯科口腔 保健計画	第 4 次枚方市食育推進計画
関係法令	老人福祉法 介護保険法	健康増進法	歯科口腔保健の推進に 関する法律	食育基本法
国等の 関連計画	介護保険事業に係る保険 給付の円滑な実施を確保 するための基本的な指針 大阪府高齢者計画 大阪府医療計画	健康日本 21（第 2 次） 第 4 次大阪府健康増進計 画	歯科口腔保健の推進に関 する事項 第 3 次大阪府歯科口腔保 健計画	第 4 次食育推進基本計画 第 4 次大阪府食育推進計 画

6. 事業費・財源及びコスト

	ひらかた高齢者保健福祉計画 21 (第9期)	第3次枚方市健康増進計画 第2次枚方市歯科口腔保健計画	第4次枚方市食育推進計画
事業費	介護保険特別会計 【令和4年度】4,099千円 【令和5年度】5,553千円（債務負担行為）	一般会計 【令和4年度】6,005千円 【令和5年度】3,291千円（債務負担行為）	一般会計 【令和4年度】3,886千円 【令和5年度】3,771千円（債務負担行為）
支出 内訳	【令和4年度】 計画策定に係る委託料： 2,777千円 アンケート等郵送料に係る通信運搬費等 1,322千円 【令和5年度】 （債務負担行為） 計画策定に係る委託料： 5,553千円 ※委員報酬については、一般会計から別途 支出	【令和4年度】 最終評価及び次期計画策定に係る委託料等： 5,796千円 健康増進計画審議会に係る委員報酬：209千円 【令和5年度】 （債務負担行為） 最終評価及び次期計画策定に係る委託料： 3,291千円 ※その他の経費については令和5年度当初予算 に計上予定	【令和4年度】 最終評価及び次期計画策定に係る委託料等： 3,677千円 食育推進計画審議会に係る委員報酬： 209千円 【令和5年度】 （債務負担） 最終評価及び次期計画策定に係る委託料： 3,771千円 ※その他の経費については令和5年度当初予算に 計上予定
財源	【令和4年度】 交付金： 2,642千円 （人生100年時代づくり・地方創生ソフト 事業交付金） 一般財源： 1,457千円 【令和5年度】 一般財源： 5,553千円（債務負担行為）	【令和4年度】 国庫補助金： 262千円 （8020運動・口腔保健推進事業補助金 1/2補助） 一般財源： 5,743千円 【令和5年度】 一般財源： 3,291千円（債務負担行為）	【令和4年度】 一般財源： 3,886千円 【令和5年度】 一般財源： 3,771千円（債務負担行為）

7. その他

健康福祉部（福祉事務所）が所管する「枚方市障害福祉計画（第6期）・枚方市障害児福祉計画（第2期）」についても、令和5年度（2023年度）末で計画期間の終期を迎えますが、現在、国において計画期間を含めた基本指針の改正を検討しており、今後の改正内容を踏まえ、改めて報告します。